

令和元年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	所管部局	農政部	作成責任者	農政部長 小田原 輝和	施策コード	06 - 07
		照会先	農政部競馬事業室 競馬グループ(内線27-105)	関係課	農政部競馬事業室		

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)	総合計画の指標
	2	経済・産業	(1) 農林水産業の持続的な成長	A 潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり
北海道創生総合戦略		北海道 強靱化計画	知事公約	
特定分野別計画等	第2期北海道競馬推進プラン			

1 目標等の設定

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> これまで取り組んできた「北海道競馬改革ビジョン」や「北海道競馬推進プラン」など長年にわたる改革により、平成25年度(2013年度)から単年度収支が黒字になるなど、経営状況が改善しつつある。 ホッカイドウ競馬を取り巻く環境は、道内発売が減少し、発売動向が景気に大きく左右されるなど、今後の発売環境も不透明な状況である。 軽種馬生産頭数が全体に減少している中、競馬の基本となる競走馬の確保が大きな課題として浮上している。 今後とも安定的に継続して事業を展開していくためには、取り巻く環境に柔軟かつ適切に対処しながら、常にお客様へのサービス事業という原点に立って、発売を拡大していく必要がある。 	施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 競馬事業の更なる発展及び馬産地の活性化に向け、積極的な発売拡大と経営の合理化を進め、収支構造の安定化に努める。 平成28年(2016年)3月に策定した「第2期北海道競馬推進プラン」を着実に推進し、安定した収支構造の確立に向け、魅力ある番組づくり、レース情報の積極的な発信を行い、道内はもとより道外やインターネット発売の拡大を図る。
-------	---	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	2(1)A		〔道〕ホッカイドウ競馬推進に関する全体調整等 〔(一社)北海道軽種馬振興公社〕ホッカイドウ競馬開催に関する運営など			H29
					H30	28,649,312
					R1	29,555,213

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	2(1)A	<ul style="list-style-type: none"> ○本賞金・出走手当の引き上げ、特に3歳・3歳以上馬の重賞を充実 ○旭岳賞・北斗盃は[H3]→[H2]にグレードを格上げ ○早期出走奨励金の創設 ○門別競馬場にキャッシュレス投票を導入 ○特別区競馬組合(大井競馬場)との連携強化 ○競馬ファン向けの対応として場内大型ビジョンのLED化 ○施設整備(既存スタンド改修、簡易スタンド新設、パドック観覧場所拡張) 		

前年度付加意見への対応状況(平成31年3月末時点)

<意見区分： 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
施策 事務事業				

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
事務事業				

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			備考
		北海道 創生総合戦略	北海道 強靱化計画	知事公約	
2(1)A	<ul style="list-style-type: none"> ○本賞金・出走手当等の引き上げにより、出走頭数が増加、多頭数による競走が実施が可能となったことで、魅力ある番組づくりが可能となった。 ○重賞競走の格上げにより、ファンの注目度が高まり、既に施行済みの北斗盃の発売額では前年に比較して約1.5倍となっている。 (売得額 H30:129,654千円、R1:190,388千円) ○早期出走奨励金の創設により、例年出走頭数が少なく、競走数を確保しづらかった春先の出走頭数、競走数が確保でき、魅力ある番組づくりが可能となった。 ○門別競馬場のキャッシュレス導入について、開幕より設置・発売。 来場者の購入方法の選択肢が広がり、利便性が向上。認知度向上、利用者増加を図るため、引き続き来場者に対しPRを行う。 ○特別区競馬組合(大井競馬場)との連携取組として、門別競馬場に東京トゥインクルファンファーレ隊を招聘。 ファン対策として、ライブパフォーマンスやファンファーレ演奏を実施し、実施日の入場者数が前年に比べ増加。 ○場内大型ビジョンのLED化及び施設整備は、開催期間中に整備が不可能なため、本年の開催終了後に整備。 				

(2) その他の取組の成果等

国等要望・ 提案状況	地方競馬全国協会や全国公営競馬主催者協議会を通じ、必要な課題解決に向けた要請等を国(農林水産省)や日本中央競馬会に対し実施。 ○JRAインターネット投票の発売拡大 ○地方公共団体金融機構納付金制度の廃止 等	施策に 関する 道民ニーズ	【有識者等からの意見等】 ○北海道地方競馬運営委員会(H31.8月、H31.3月) ・ファン対策(イベントの充実)や番組づくり(賞金等の見直し)等 これら意見を踏まえ、賞金等の見直しや大井競馬場との連携を実施。
---------------	---	---------------------	--

令和元年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	施策コード	06 - 07
-----	---------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
-	ホッカイドウ競馬の開催期間中に日高振興局(農務課・商工労働観光課)と連携し、門別競馬場内でのイベント「ひだか特産市」を6日間程度を実施し、馬産地である日高管内の特産品や観光PRなどの取組を行う。	-	経済部(日高振興局産業振興局商工労働観光課・農務課)	今年度は、門別競馬場においてR1.5月及び8月のうち計5日間、日高振興局と連携した「ひだか特産市」を開催し、競馬場を活用した地域振興が図られた。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
企業等と連携したイベント(企業デー)を実施する。 ・門別競馬場でのコラボイベント開催 ・イベント当日の競走を全て企業イメージを発信する競走名として実施	(株)AIRDO、(株)コンサドーレ、ホクレン農業協同組合連合会	企業デーについて、R1.6月にAIRDOによる「AIRDOサンクスデー」、R1.7月にレバンガ北海道による「レバンガ北海道ティップオフナイター」を実施し、各種抽選会や企業名による競走実施、選手の来場などのイベントを行うなどのファンサービスを行った。 なお、H30開催予定のホクレン農業協同組合及び(株)コンサドーレとの企業デーは、北海道胆振東部地震の発生により中止した。
ホッカイドウ競馬の支援企業が連携した競走・イベントを実施する。 ・「道産子企業北海道競馬応援賞」の実施 ・協賛企業の商品などのプレゼント抽選会実施	(株)AIRDO、サッポロビール(株)、ポッカサッポロ北海道(株)、(株)コンサドーレ、ソメスサドル(株)、ホクレン農業協同組合連合会、雪印メグミルク(株)、(株)レバンガ北海道	連携先による協賛競走を随時実施。 R1.5月の春のケイバまつり及びR1.8月の夏のケイバまつりにおいて、連携先企業のプレゼント抽選会などのファンサービスと企業のPRを実施した。
「北海道競馬缶」(サッポロビール黒ラベル限定商品)を発売する。	サッポロビール(株)	ホッカイドウ競馬のほか、JRA札幌競馬場、ばんえい十勝を含めた「北海道ミライ競馬缶」をR1.5月に発売した。

令和元年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	施策コード	06 - 07
-----	---------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定 (H:平成 R:令和、大文字は年度、小文字は暦年) 3-2 成果指標の達成度合

他① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R2					
競馬事業の収支	基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R2	年度	H30	R1	進捗率	ホッカイドウ競馬本体での発売増と他地方競馬及びJRA馬券の発売増による手数料収入の増により、H30年度における単年度収支が5億9千6百万円の黒字となった。
	基準値	0円<	目標値	0円<	最終目標値	0円<	目標値	0円<	0円<	0円<	
[指標の説明] ・第2期北海道競馬推進プランにおいて、単年度収支の黒字経営の継続などとしており、競馬事業の持続的な発展と馬産地の活性化に資する事業を展開する。	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	5.96億円	-	5.96億円	
	第2期北海道競馬推進プラン		2(1)A	維持	収支が0円以上であれば、達成率100%		達成率	100.0%	-	100.0%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和元年度 基本評価調書

施策名	道営競馬の推進	施策コード	06	—	07
-----	---------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度から の繰越事業 費(千円)	令和元年度					フル コスト (千円)
						事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			
								本庁	出先機関	人工計	
0201	2(1)A	北海道地方競馬特別会計	ホッカイドウ競馬の開催	競馬事業室	0	29,555,213	0	7.0	0.0	7.0	29,611,003
0202	2(1)A	競馬事業室総合調整等事務	課内における管理・監督事務	競馬事業室	0	0	0	1.0	0.0	1.0	7,970
計					0	29,555,213	0	8.0	0.0	8.0	

令和元年度 基本評価調書

施策名

道営競馬の推進

施策コード

06 - 07

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A	B	C	D	-		
	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可		
2(1)A	1					A・B指標のみ	<競馬事業の収支【A】> ホッカイドウ競馬本体での発売増と他地方競馬及びJRA馬券の発売増による手数料収入の増により、H30年度における単年度収支が5億9千6百万円の黒字となった。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	「第2期北海道競馬推進プランを平成28年(2016年)3月に策定し、プランの進捗状況を管理し、ホッカイドウ競馬の推進に向けた取組を着実に推進しており、北海道競馬運営委員会を通じ、道民意見を踏まえ課題解決に対応している。
基準2~4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	地方競馬全国協会や全国公営競馬主催者協議会を通じ必要な課題解決に向けた要請等を国(農林水産省)に対して実施(地方競馬活性化計画に基づく補助事業の継続など)しており、状況の進捗が認められる。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか	○	北海道地方競馬運営委員会などを通じ、道民意見を聴取しており、施策の改善に役立てている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	日高振興局と連携し、馬産地・ホッカイドウ競馬のPRのため、イベント等の実施により部局間で連携した成果が確認できる。
	施策の推進に当たり、地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	支援企業による協賛競走やイベント実施などで、企業との連携による成果が確認できる。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価と対応方針等

成果指標の分析		取組の分析	総合評価					
判定(計)		判定						
A・B指標のみ		a	概ね順調に展開					
対応方針			関連する事務事業			関連する計画等		
対応方針番号	政策体系	内 容	方向性	事務事業整理番号	事務事業名	北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	知事公約
①	2(1)A	第2期北海道競馬推進プランでは、「顧客(ファン)の拡大」、「商品(馬)と品揃え(番組)の充実」、「サービスの向上と発売チャンネルの拡大」、「事業の持続的な発展のための施設等整備並びに経営体質強化等」を取組の方向性として示しており、次年度以降も本プランに沿った取組を実行する。						

前年度付加意見への対応状況(事務事業)

事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(評価時点)

令和元年度 基本評価調書

施策名

道営競馬の推進

施策コード

06 - 07

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<p><新たな取組等> 「第2期北海道競馬推進プラン」を着実に推進し、安定した収支構造を確立するため、顧客の拡大に取り組むとともに、強い馬づくりと魅力ある番組づくりを進め、情報の積極的な発信等を通じ、一層の発売拡大を図る。</p>	

(2) 二次評価結果への対応(付加意見への対応状況)

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果							0

次年度新規事業 (予定)

整理番号	事務事業名	一次政策評価に おける方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)